

三遊亭 円朝 原作
大西 信行 脚本
成瀬 芳一 補綴・演出

妖麗牡丹燈籠

二幕

人間の心理を
見事に描いた
妖艶で華麗な
傑作舞台！



佐藤B作 前川泰之 一色采子 山本陽子



三遊亭楽麻呂 児玉真二 川上彌生 山吹恭子



桂 佑輔 中田 浄 川和郁子 松原美穂

美術 古川隆之
照明 北内雅志
効果 秦大介
舞台監督 古山昌克
同 柳田昌諒
制作協力 大迫辰己
制作事務 中川亜紀
同 松本康平
同 金谷庸久

解説

平成二十九年の松竹特別公演は、三遊亭円朝の人情噺の劇化『牡丹燈籠』を上演致します。

この作品は、古くは中国の怪異小説集『剪燈新話』の中の『牡丹燈記』が原典です。三世河竹新七の脚本(明治二十五年初演)、岡本綺堂の『牡丹燈記』(昭和二年初演)と歌舞伎に依る先行作品がありましたが、今回上演される大西信行の脚本は、昭和四十九年文学座で杉村春子の為に書き下ろされた、人間の心理を見事に描いた今日的な香りのする傑作です。

今回は、舞台女優として円熟味を増した、山本陽子が初役で杉村春子の三役、お米・お峰・夫人に挑みます。共演は、この全国公演は二度目、テレビ・舞台で活躍している佐藤B作が、下男から大店の主人にのし上がる伴蔵を演じ、華やかな雰囲気を持つ女優一色采子が愛妾お国役で出演し、更にこの全国公演では初登場、テレビドラマでお馴染みの清新な魅力を持った前川泰之が源次郎役で出演致します。

妖艶で華麗な舞台『妖麗 牡丹燈籠』にご期待ください。

あらすじ

旗本飯島平左衛門(児玉真二)が妻に先立たれ、女中お国(一色采子)を愛妾にした為、娘お露(川上彌生)は乳母お米(山本陽子)と柳島の寮に移り住んだ。梅見の折、お露は浪人萩原新三郎(桂佑輔)に一目惚れするが、父に反対され再び会えずに焦がれ死に、お米もあとを追った。折りしも盆の十三日。お露の死を聞かされた新三郎がお露の位牌をかかげ祈っていると、どうしたか牡丹燈籠をさげたお米に伴われてお露を訪れる。喜んだ新三郎はお露と一夜を明かす。新三郎の孫店に住む伴蔵(佐藤B作)がそれを見て驚いた。二人の幽霊が新三郎に絡みついていたからである。一方、お国は隣家の放蕩息子源次郎(前川泰之)と不義密通の上、主殺しに及んだ。

新三郎は死霊退散の札を戸口に貼り家に閉じこもるが、百両の金にまけて伴蔵は女房のお峰(山本陽子ニタ役)と幽霊の望み通り札を剥がしたため、新三郎は幽霊に取り憑かれて落命した。また盆が来た。

江戸を離れて幽霊から貰った金を元手に大店の主におさまっている伴蔵夫婦、そして変わり果てたお国と源次郎――。

色と欲が絡んで三遊亭円朝(三遊亭楽麻呂)の因果話は続く。